令和7年度　島田市立島田第二小学校　グランドデザイン

学校教育目標『　自ら学び　心豊かに生きる子　』

＜国・県の方針＞
－第４期教育振興基本計画－
　持続可能な社会の創り手の育成
　日本社会に根差したウェルビーイングの向上
－静岡県教育振興基本計画－
　有徳の人の育成
　～誰一人取り残さない教育の実現～

校訓

子供一人一人に良き友、良き師があり、生きがいを感じさせる創造的な教育活動を実践し続ける学校

＜島田市の教育方針＞
夢育・知育、豊かな心、確かな学力、健康な体、確かな学力、特別支援教育の充実、子供主体となる授業「自分らしさが輝く授業」、「信頼される学校づくり」の推進

Plan（目標・計画）
二部・学年部・特別支援部

Do（実践）
学校・学年・学級

一人一人に安全で安心な居場所を保障する

＜学校経営の方針＞
1　発達支持的生徒指導をベースとした温かい働きかけを大切にする
2　特別支援教育の充実を図る（適切な支援と合理的配慮、UD を意識した授業づくり）
3　主体性、自己肯定感、コミュニケーション能力の育成を目指す
4　主体的な課題解決の機会をつくり、自己調整しながら成長する姿を求める

求めていく子供の姿
○なりたい自分をもち、自分事として考え、進んで取り組んでいる（主体性）
○自分を見つめて肯定的に評価し、価値ある存在として認めようとしている（自己肯定感）
○他者意識、相手意識をもち、相手とより良く関わろうとしている（コミュニケーション能力）
○一中マナー『時を守り、場を清め、礼を正す』 心地よさを感じ取り、行動しようとしている

信頼される頼もしい教師の姿
○発達支持的生徒指導をベースとした温かい働きかけを行う
○特別支援教育の理解と実践を行う
○子供のよさや可能性、存在そのものを認め、子供の自己肯定感を高める
○授業改善を推進する（個別最適な学び、協働的な学び、ICT の効果的な活用）
○学年担任の意識をもち、二人の学級担任で学年の子供たちを育てる（授業の相互乗り入れ）

令和７年度重点目標
なりたい自分をもって　自ら考え行動する
【成果指標】
『なりたい自分』をもっている→90%
『なりたい自分』になるため頑張っていることがある→90%

心みがき部
◎自分のよさを知り、自他を大切にできる子

★発達支持的生徒指導をベースとした温かい働きかけ
「どのクラスにも起こりうる」いじめや不登校への危機感
特に未然防止に重点、発生時には早期対応と組織的対応
★一中マナーの具現
「時を守り　場を清め　礼を正す」 具体的な取り組みを全校で共通して行い、落ち着いた生活・学習環境を整える
★特別活動の充実
課題解決力を高めるため**なかまサイクル**（PDCA）を活用
★キラキラカードの励行
自己肯定感を高めるため、互いに認め合う機会をつくる
【成果指標】
学校が楽しい→95%　時を守り、場を清め、礼を正す→85%
（学年や学級）よりよくなるためにどうしたらよいか考えている→80%
自分のよいところが言える→85%

学び深め部
◎自ら考え、学びを調整する子

★ねらいを明確にした単元デザイン
①明確な単元のゴールの設定
②学びを深めるための効果的な手立て（今年度の重点）
③自分の学びがわかる振り返り
★UD を意識した授業づくり
★授業を通して支持的風土に富んだ温かな学級をつくる
（スキル表を活用して聴き方や話し方の向上）
★学びウィーク（子供同士の他学級や他学年の授業参観）
★基礎的・基本的な知識・技能の定着
（繰り返しの指導、ICT 活用、家庭学習の充実）
【成果指標】
授業がよくわかる→90%
興味を持って聴く、理由まで話す→80%
自分の考えを深めたりよいものにしたりする→80%

安全・安心な環境づくり
・月一回の安全点検の確実な実施
（ローテーションにより多くの目で確認）
・児童の目線に立ち、日常的な安全管理

【地域・家庭との連携】
・学校運営協議会や家庭と目標やビジョンを共有して、協力や支援を求める
・持続可能な PTA 活動を創生

【持続可能な働き方の推進】
・業務や会議の精選
・DX 化や ICT 活用等により業務の効率化を図る

Action（改善）
職員会議・二部会

Check（評価・分析）
学校評価アンケート
学年主任者会